

夢のつばさプロジェクト

2023年冬キャンプ 学生報告書

【日程】 2023年12月23日(土)～25日(日)

【開催地】 ㈱ブリヂストン保養所 奥多摩園(青梅市)

【参加者】 子ども：13名(小学生1名、中学生4名、高校生6名、専門・大学生1名、社会人2名)
学生スタッフ・OB/OGスタッフ(社会人含む)：29名
社会人スタッフ/協力者：12名

◆2023年冬キャンプについて

今回も多くの皆様のご支援とご協力を賜り、二泊三日でのキャンプを開催することができました。

夢のつばさでは子どもたち一人一人との対話を大切にし、一緒に喜んだり、時に一緒に悩んだりしながら子どもたちの成長を見守っており、毎回のキャンプはスタッフと子どもたちが対面で顔を合わせて話をする事ができる大切な機会となっています。

今回のキャンプでは「自分を知る」というテーマのもと、皆との関わり合いやスタッフとの会話を通して自分について考える時間を作りました。一人一人の子どもたちについて、置かれている状況や目指しているものはみんなそれぞれ違いますが、ほかの誰でもない自分自身について知り、これまでとこれからのことについてじっくりと考えることは誰にとっても大切なことであるように思います。当日は年齢の近い学生スタッフに相談をしたり、経験豊富な社会人スタッフの話を興味深そうに聞いたりする子どもたちの姿が見られ、それぞれ自己理解や進路についての考えを深めている様子でした。

以下に詳細をご報告いたします。

◆スケジュール・概要

	1日目(12月23日)	2日目(12月24日)	3日目(12月25日)
午前	送迎	夢のつばさ祭	閉会式
午後	開会式 夢のつばさ祭	自由時間 音楽会	送迎
夜	自由時間 しゃべくりY	自由時間	

〈1日目〉

◆夢のつばさ祭

1日目の夢のつばさ祭ではグループに分かれてゲーム作りをしました。「みんなで遊べるもの」という条件だけ与え、色画用紙やトイレットペーパーの芯、お菓子の箱など様々な材料から思い思いのゲームを作ってもらいました。積極的に意見を提案する子もいれば、一つの作業に熱心に取り組む子もあり、子どもたちそれぞれの性格が表れていました。

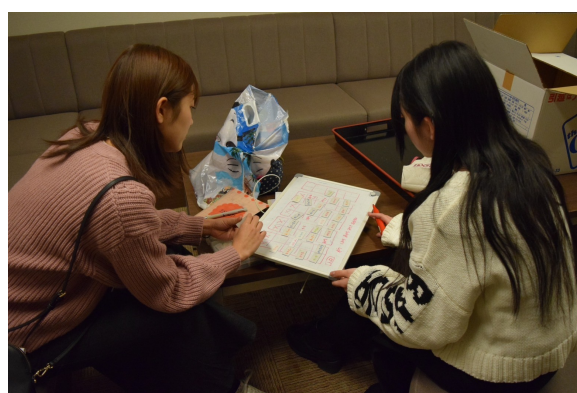


◆しゃべくりY

夜にはしゃべくりYと題して学生たちの人生を子どもたちにプレゼンしました。ゲーム作りを通して自分がどのように活動したかを振り返る簡単なチェックシートを子どもたちに書いてもらい、その結果に基づいてどの学生の話聞きに行くか選んでもらいました。自分と似た性格の学生のところへ行った子も、あえて自分とは反対の学生のところへ行った子も、学生の話聞いて自分自身の進路や性格について理解を深めている様子でした。

◆勉強部屋について

秋の交流会での保護者懇談会において、子どもたちの勉強に関する相談を受けたことから、今回のキャンプでは自由時間に勉強をすることができる勉強部屋を設けました。子どもたちの意思に任せて希望者のみの参加としましたが、受験を控えた子どもや高校生を中心に何名かの子どもが集まってくれました。それぞれ自分の課題に集中して取り組んでいました。



〈2日目〉

◆夢のつばさ祭

2日目は作ったゲームで遊びました。すごろくやカードゲームなど、どのグループのゲームも工夫があり、時間内で遊び終わらないほど熱中できるものばかりでした。夢のつばさ祭では子どもたちが楽しそうに遊んでいる様子や協力する姿を見ることができました。

◆音楽会

夕食後に毎年恒例の音楽会を行いました。社会人スタッフの白井様の紹介により、夏のキャンプに引き続きファゴット奏者の興津諒様、新しくフルート奏者の島田沙織様、ソプラノ歌手の青木寛子様にお越しいただき、素敵な演奏と歌声を聴かせていただきました。



〈3日目〉

◆閉会式

3日目は朝食後にセミナールームで閉会式を行いました。恒例のスライドショーを鑑賞した後、みんなでメッセージカードを書き合い、寄せ書きを作りました。時間いっぱいカードの裏面までメッセージを書く子どもたちを見て、最終日まで無事にキャンプを開催することができたことを喜ばしく感じました。今年1年間、春の交流会から冬のキャンプまで子どもたちと直接関わることができたことを本当に嬉しく思います。対面で会うことができたのは日数にして合計1週間程度の期間でしたが、子どもたちの成長を間近で感じることができました。これからもこのつながりを通した心地よく意義のある空間づくりに努力していく所存です。

夢のつばさプロジェクト学生代表 東北大学2年 菅真紗希

